



「ともだち」1121朝会での話

先週18日（金）まで、学校では図書委員会主催の「読書まつり」が2週間に渡って行われました。みなさんは、この期間に何冊の本を読みましたか？。また、どんな本との出会いがありましたか？。校長先生の好きな言葉の一つに「**読書は心を耕す**」という言葉があります。つまり簡単にいうと、「本を読むこと」「いろいろな本と出会うこと」によって、「**自分の心がフカフカする**」ということです。心に栄養がたまって、温かい気持ちの人になれるということかなと思います。読書まつりの読み聞かせ企画で、校長先生は5年2組だけにしか読み聞かせにいけなかったのが、今日のこの朝会で全校のみなさんに読み聞かせをしたいと思います。その本とは…！「ともだち」（文：谷川俊太郎・絵：和田 誠）です。（略）

※ともだちって

いっしょに かえりたくなるひと

だれだって ひといぼちでは いきてゆけない

ともだちって すばらしい



今いる友だち、これから出会う友だちもいます。誰でもどの子でも大切な一人の人間です。そこで、来月12月4日（日）から10日（土）までの1週間は、人権について考える「人権週間」があります。ちょっと早いですが、人権についてのお話をします。人権とは、「全ての人が命と自由を持っていて、それぞれ幸せになろうとする権利、人間が人間らしく生きる権利、誰もが生まれながらに持っている権利」のことです。これは、とても大切なもので、学校の中でもみんなで大事にしていかなければならないことです。半田市では、小中学校のみなで作った「スマイル宣言」があります。校舎内にも掲示されています。また、亀小では児童会のペアスマなどでみんなも「スマイル宣言の歌」を歌って、相手の気持ちを考えて行動し、相手のよいところを探して、互いに認め合いましょう！ということをお願いしていますね。それから、3年生の国語の教科書には、「金子みすゞ」さんの詩、「わたしと小鳥とすずと」という詩が載っています。

わたしが両手をひろげても、	お空はちっともとべないが、
とべる小鳥はわたしのよう、	地面をはやくは走れない。
わたしがからだをゆすっても、	きれいな音はでないけど、
あの鳴るすずはわたしのよう	たくさんうたは知らないよ。
すずと、小鳥と、それからわたし、	みんなちがって、みんないい。

最後の「みんなちがって みんないい」という言葉は、先生は大好きな言葉です。「一人一人みんなが大事で、大切なのです。」ということを考えさせられる詩ですね。

12月4日から人権週間がありますが、「人を大切にする」「人に優しくする」「相手が嫌だと思ふことは言わないし、しない」など、相手のことを考えて行動する！ことは、「当たり前」のことですよね。亀小には、「かめっ子ABC！」（A：「あたりまえのこと」を B：バカにしないで C：ちゃんとやる）があります。「もの・場所・時間」などを大切にするABC！だけでなく、相手を思いやる「こころ」のABC！も豊かにしていきましょう。

今までの「かめっ子ABC！」に、「A：『**ありがとう**』を B：バカにしないで C：ちゃんと**言う**」【新】かめっ子ABC！として、「ありがとう」という相手を思いやる感謝の気持ちを伝え合うことをこれを機に加えていきたいです。「ありがとう」という言葉を伝えることは、人権意識や人権感覚を大切にしたい気持ちでもあります。亀小が「ありがとう」という魔法の言葉でいっぱいあふれるよう、『ありがとう』をバカにしないで ちゃんと言う【新】かめっ子ABC！を意識してこれからもみんなで一緒に未来の亀崎小学校を創っていきましょう。

「世界人権宣言」の絵本

1948年に世界の国々の人たちが話し合って「世界人権宣言」というものが作られました。全部で30条あるこの宣言を「ともだち」の作者である「谷川俊太郎 氏」が絵本として分かりやすく直したものがあります。少しだけ、紹介します。



第1条 みんな仲間だ

わたしたちはみな、生まれながらにして自由です。ひとりひとりかけがえのない人間であり、その値打ちも同じです。だからたがいによく考え、助けあわねばなりません。

第2条 差別はいやだ

わたしたちはみな、意見の違いや、生まれ、男、女、宗教、人種、ことば、皮膚の色の違いによって差別されるべきではありません。また、どんな国に生きていようとその権利にかわりありません。

2つだけ紹介しましたが、このような宣言が30条あります。「世界人権宣言の絵本」は学校の図書館にありますし、ネットでも調べられます。ぜひ、全文を読んでみてはどうですか。

11月20日(日)亀崎地区総合防災訓練

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年度まで中止していた「防災訓練」を、今年は規模を縮小した形となりましたが、20日(日)に亀崎小学校の体育館で実施いたしました。

自主防災会の方々が中心となって、実際に学校体育館が避難所となった場合を想定して、「災害用簡易トイレテント」の説明や組み立て式段ボールを使ってブースの間仕切りをしたり、給水栓による給水体験をしたりと、避難所での生活の一部を間近で経験することができました。最後に、防災保存食をお湯で温めて作ることができる非常食の自炊も行われました。災害は起こらないにこしたことはありませんが、いざというときへの備えや訓練は大切です。



＜災害用マンホールトイレ＞



＜段ボール間仕切り体験＞



＜応急給水栓の給水＞

頭をシャキッと！今回の脳トレは…

■1 「この人どんな人？」

あ|い|う|え|お
か|き|く|け|こ

■2 「100-1」

この漢字は、何でしょう？

